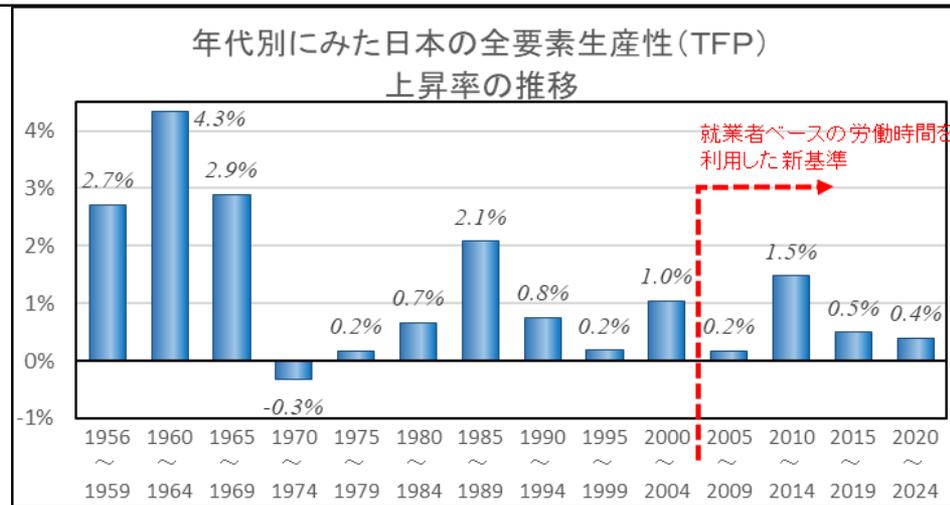
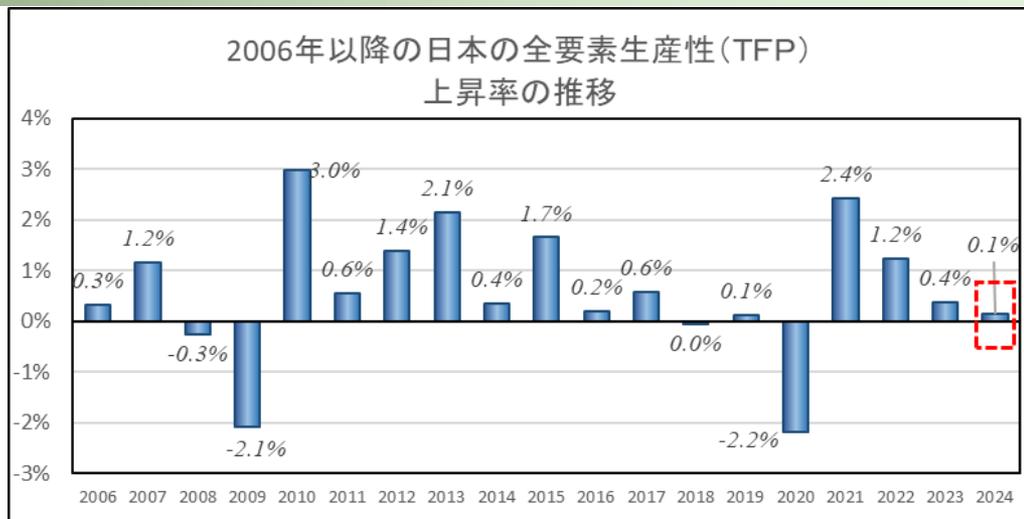


日本の全要素生産性(TFP)の推移

- 2024年の全要素生産性上昇率は+0.1% (前年比)。
- 日本の全要素生産性上昇率は、2000年代後半をみるとリーマン・ショックの影響などで+0.2% (年平均)にとどまったが、2010年代前半になって+1.5%に回復した。
- 2010年代後半・2020年代前半は0%台半ばで推移している。



※内閣府「国民経済計算」「民間企業資本ストック」・総務省「労働力調査」・厚生労働省「毎月勤労統計」・経済産業省「第三次産業活動指数」「鉱工業指数」をもとに日本生産性本部作成
 ※就業ベースの労働時間を利用した新基準: 就業ベースの労働時間として内閣府「就業者の労働時間数に係る参考系列」(2005年以降)が公表されており、上記新基準は内閣府の当該参考系列を利用したものである。2004年については、雇用者ベースの厚生労働省「毎月勤労統計調査」総実労働時間数を利用する従来系列を利用している。両者は利用データが相違するため、時系列的に連続しないことに留意されたい。